

箱型擁壁

NETIS
掲載終了

NNTD
No.0287

建技
審証

DL
Landscape

可とう性を有するもたれ形状の擁壁

●特長

1.耐震性

フレキシブルな構造であるため、地震時の土圧に対して壁体が微小に挙動することで発生する応力を減少させ、擁壁のひび割れや崩壊を防止します。また、地盤反力が小さく、基礎地盤、背面土の不同沈下にも追従性を発揮して、擁壁全体の安定性を保持します。

2.安全性

単粒度碎石の層は極めて排水性が高く、必然的に背面土の安定が計れます。

3.経済性

施工現場では、鉄筋、コンクリート、型枠などの特殊作業をほとんど使用しないため、大幅な工期短縮によって経済性の向上が計れます。

4.施工性

カーブ施工が容易です。階段積み形状は立体感ある造形美を有しています。また、製品を反転することにより、容易に端部止めができます。

5.環境性

各小段を利用しての植栽、あるいは自然緑化等で生態系保全にも配慮できます。また小段は、けもの等の通り道、斜面落雪の緩和、車両走行の視線誘導、カーブの視界障害の軽減といった様々な特性があります。

6.建設技術審査証明取得

建設技術審査証明(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)

(一財)土木研究センター建技審証第0327号

(有効期限:2029.3.30)

※本審査証明は株式会社箱型擁壁研究所、昭和コンクリート工業株式会社に交付されたものです。



岩手県宮古市



福島県楢葉町

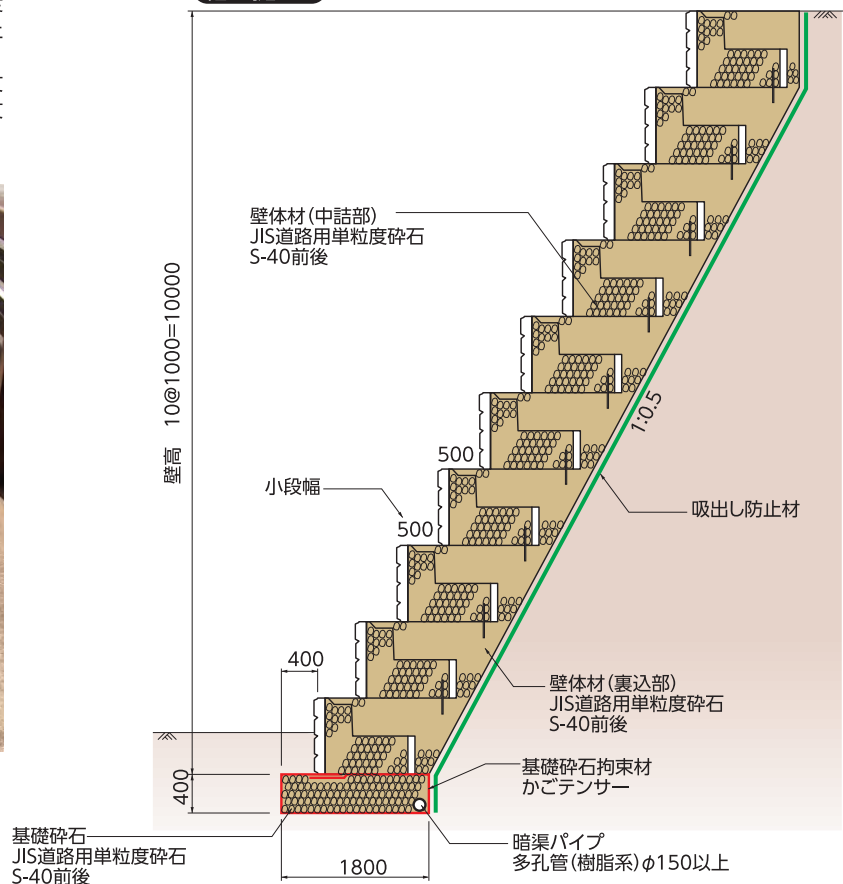
標準敷設図

箱型形状をしたプレキャスト材と中詰め材(単粒度碎石)を用いて、階段状に積み上げる擁壁です。土圧等の外力に対して、壁体(製品と中詰め材)の自重及び、中詰め材(単粒度碎石)の粒状材による支持抵抗力とせん断抵抗力を利用し背面土に密着支持されることを基本原則とした工法です。



青森県黒石市

箱型擁壁L



基本形状図
形状・寸法
重量表

擁壁類

防草製品

GRC・FRCC製品

道路関連

景観製品

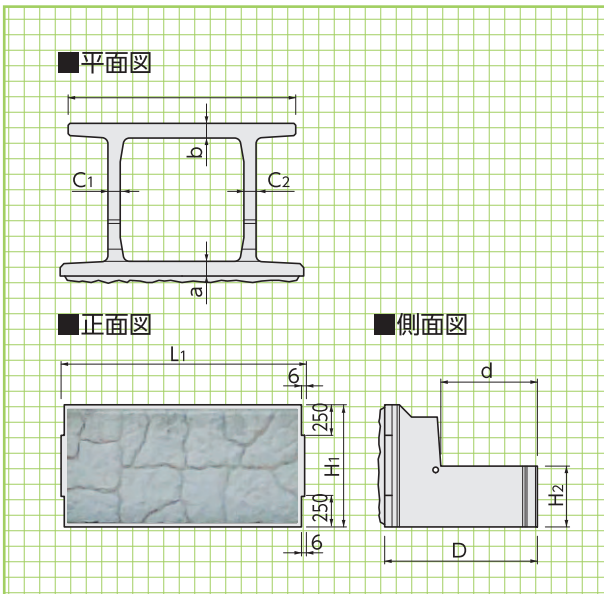
側溝類

管渠類

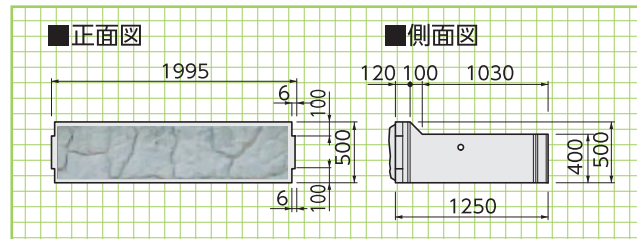
その他

※面版デザインは2種類用意しております。

箱型擁壁Lタイプ A型・B型



箱型擁壁Lタイプ Ah型 参考重量:784kg



■寸法・重量表

| 呼称 | 寸法(mm) | | | | | | | | | | 参考重量(kg) |
|---------|--------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|----------|
| | L1 | L2 | H1 | H2 | a | b | C1 | C2 | D | d | |
| Lタイプ A型 | 1995 | 1865 | 1000 | 498 | 120 | 140 | 100 | 100 | 1250 | 790 | 1304 |
| Lタイプ B型 | 1496 | 1262 | 1000 | 498 | 120 | 120 | 100 | 100 | 1250 | 790 | 1028 |

■標準歩掛り(Lタイプ A型) (10m²当り)

| 呼称 | 形状寸法 | 単位 | 数量 |
|--------------|-----------------|----------------|------------|
| 世話役 | | 人 | 0.2 |
| 普通作業員 | | 人 | 0.8 |
| クレーン | 15~16t吊り | 日 | 0.2 |
| 箱型擁壁 | A型1.0×2.0×1.25m | 個 | 5.0 |
| 箱体目地材 | | 枚 | 5.0 |
| ※1 暗渠工 | φ150mm(樹脂製) | m | 10.0 |
| ※2 基礎材工 | 単粒度碎石S-40前後 | m ³ | 7.2 |
| 壁体材工 | 単粒度碎石S-40前後 | m ³ | 13.5 |
| 端部中詰めコンクリート工 | | m ³ | 現場状況に応じて計上 |
| 吸い出し防止材 | EX-40 | m ² | 現場状況に応じて計上 |

※1、※2 最下段に限り計上する。(注:歩掛り表は、1:0.4勾配の場合)
注1) 運搬距離20m程度の小運搬を含む。
注2) 集水(排水パイプ)は湧水の特に多い場所は、適応口径のものを使用する。
注3) クレーンの機種は現場状況により別途検討すること。

標準歩掛り



岩手県宮古市

テラセル®擁壁工法

テラセル®擁壁工法とは、展開したテラセル® (ジオセル)に現地発生土や碎石を充填し、段積みすることで擁壁を構築し、切土のり面を保護する工法です。

●特長

1.高い耐候性・耐薬品性

高密度ポリエチレンを使用し、表面のシートには厚さ1.5mmのシートを使用しているため、十分な耐候性を持っております。また、耐薬品性にも優れており、酸性土・アルカリ性土などのあらゆる土壤に適應します。

2.様々な中詰材の使用が可能

テラセル® はハニカム構造のため、中詰材を拘束することで現地発生土や碎石等の様々な中詰材を状況に応じて使用できます。

3.現地に応じた高い適応力と柔軟性

壁面勾配1:0.1~1.0で壁高8mまでの高さに対応可能で、現地の状況に合わせた曲線部や勾配の変化も容易に対応できます。基礎コンクリートが不要で、ある程度の地盤の不等沈下にも追従します。

4.軽量でコンパクト

テラセル®は約4kg/枚と軽量なため、容易に運搬ができます。また、コンパクトな状態で納入されるため、材料の保管に広いスペースを必要としません。

5.簡単に素早い施工性

使用する部材が少なく、施工方法も展開・充填・転圧の繰返し作業のため、施工期間の短縮が可能です。そのため、狭小な現場や災害復旧に能力を発揮します。また、コンクリートを使用しないため、養生期間が不要で工期短縮が可能です。

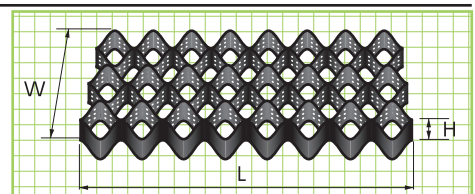
6.緑化が可能

植生可能な中詰材を使用することで、セットバックした部分への植生工や在来種の飛来による緑化ができます。



■寸法・重量表

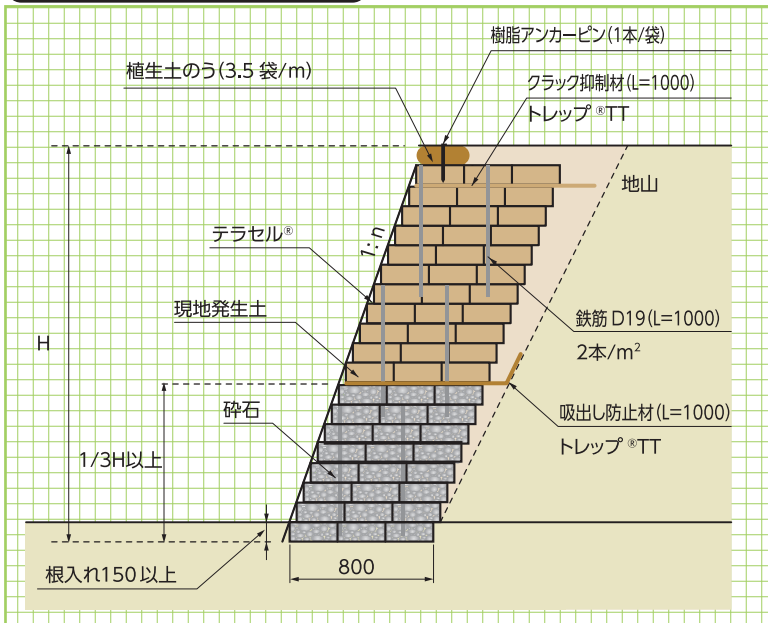
| 呼称 | 展開後寸法 (mm) | | | 参考重量 (kg) | カラー |
|---------|------------|-----|------|-----------|-----------|
| | H | W | L | | |
| TW-150M | 150 | 800 | 2650 | 約4.0 | ブラック、ベージュ |



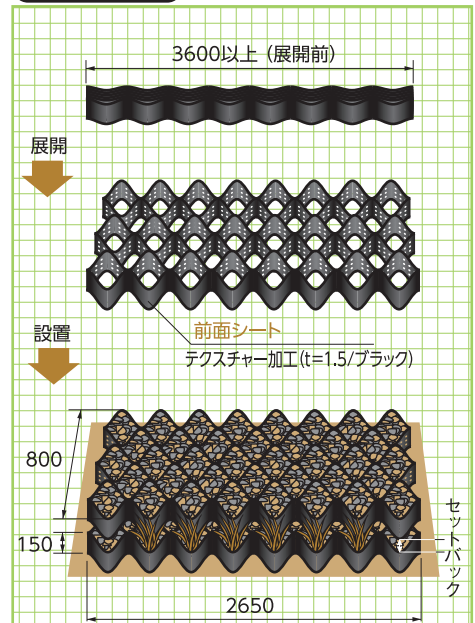
基本形状図

形状・寸法
重量

標準敷設図 (H=5m以下の場合)



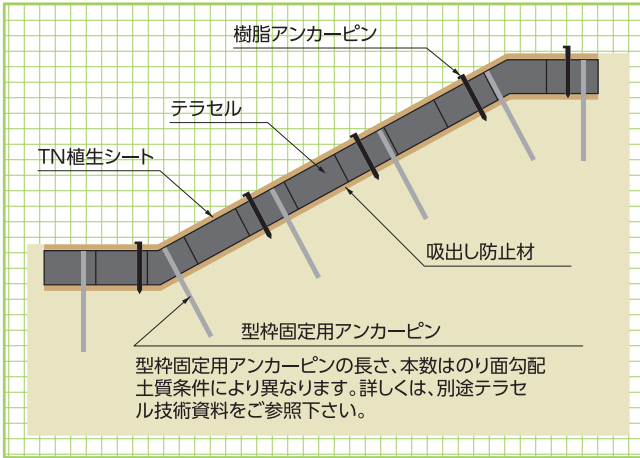
展開イメージ



テラセル®法面保護工法

1:1.0より緩い勾配ののり面にテラセル®を平面的に展開し、発生土もしくは砕石を充填することにより表層の侵食を防止するとともに、植生基盤を安定させることができます。

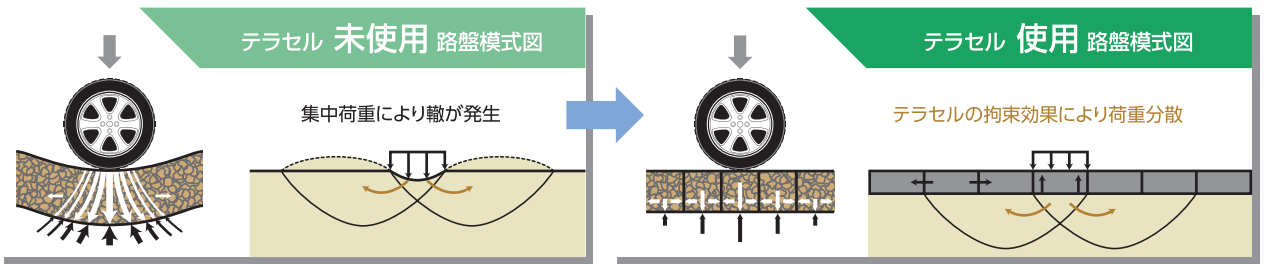
標準敷設図(H=5m以下の場合)



標準敷設図

テラセル®路盤補強工法

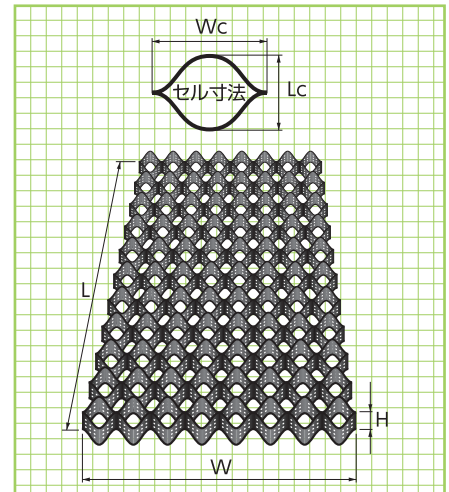
テラセルの拘束効果により車両通行による集中荷重の分散を可能にした路盤安定システムです。



■法面保護工法、覆土工法用テラセル® 寸法表

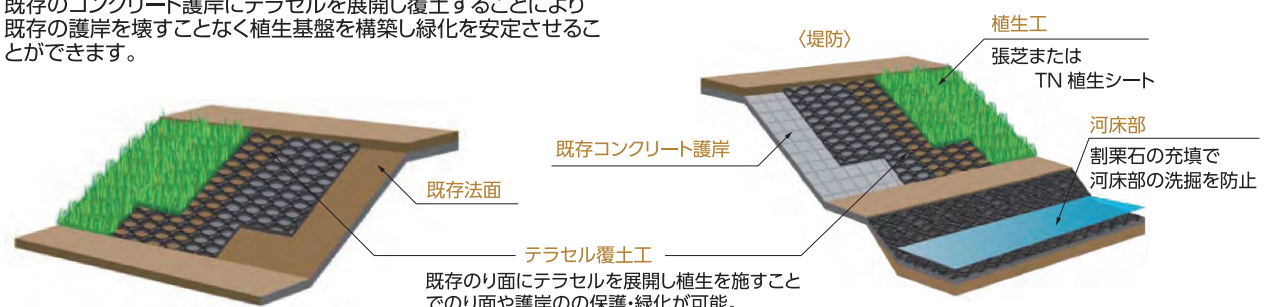
※穴開きタイプもございます。
※カラー:ブラック、ベージュ。

| 呼称 | | 展開後寸法(mm) | | | セル寸法(mm) | |
|------------------------------|--------|-----------|------|-------|----------|-----|
| | | H | W | L | Wc | Lc |
| S型 (16.69m ²) | T-50S | 50 | 2560 | 6520 | 256 | 225 |
| | T-100S | 100 | 2560 | 6520 | 256 | 225 |
| | T-150S | 120 | 2560 | 6520 | 256 | 225 |
| | T-200S | 200 | 2560 | 6520 | 256 | 225 |
| M型 (21.37m ²) | T-50M | 50 | 2560 | 8350 | 320 | 228 |
| | T-100M | 100 | 2560 | 8350 | 320 | 228 |
| | T-150M | 120 | 2560 | 8350 | 320 | 228 |
| | T-200M | 200 | 2560 | 8350 | 320 | 228 |
| L型 (35.12m ²) | T-50L | 50 | 2560 | 13720 | 512 | 473 |
| | T-100L | 100 | 2560 | 13720 | 512 | 473 |
| | T-150L | 120 | 2560 | 13720 | 512 | 473 |
| | T-200L | 200 | 2560 | 13720 | 512 | 473 |



テラセル®覆土工法

既存のコンクリート護岸にテラセルを展開し覆土することにより既存の護岸を壊すことなく植生基盤を構築し緑化を安定させることができます。



施工イメージ

KPブロック/KPブロックII型 (省力化練積み間知ブロック(1個/m²))

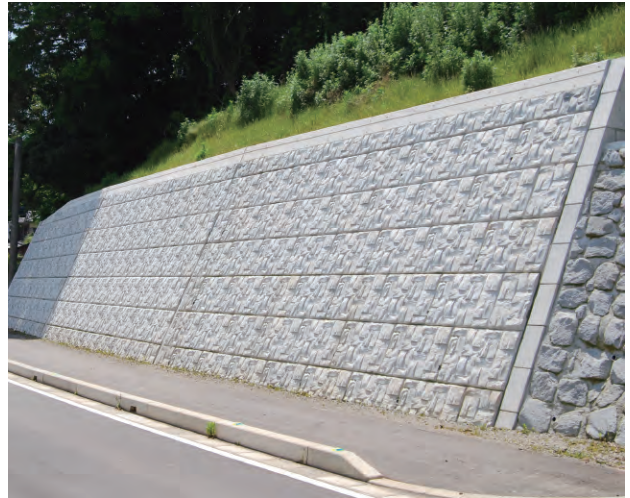


●特長

- 1.1個が1m²なので、工期は大幅に短縮され、作業の省力化が出来ます。
- 2.基礎部をプレキャスト化する事により、施工労力を軽減しました。
- 3.裏壁があるため、裏型枠は必要ありません。
- 4.ブロック表面が擬石模様なので、自然との調和が図れます。
- 5.胴込コンクリートが一体化するため、強固な練り積み擁壁を形成できます。

平均明度
5.5

輝度の標準偏差
21

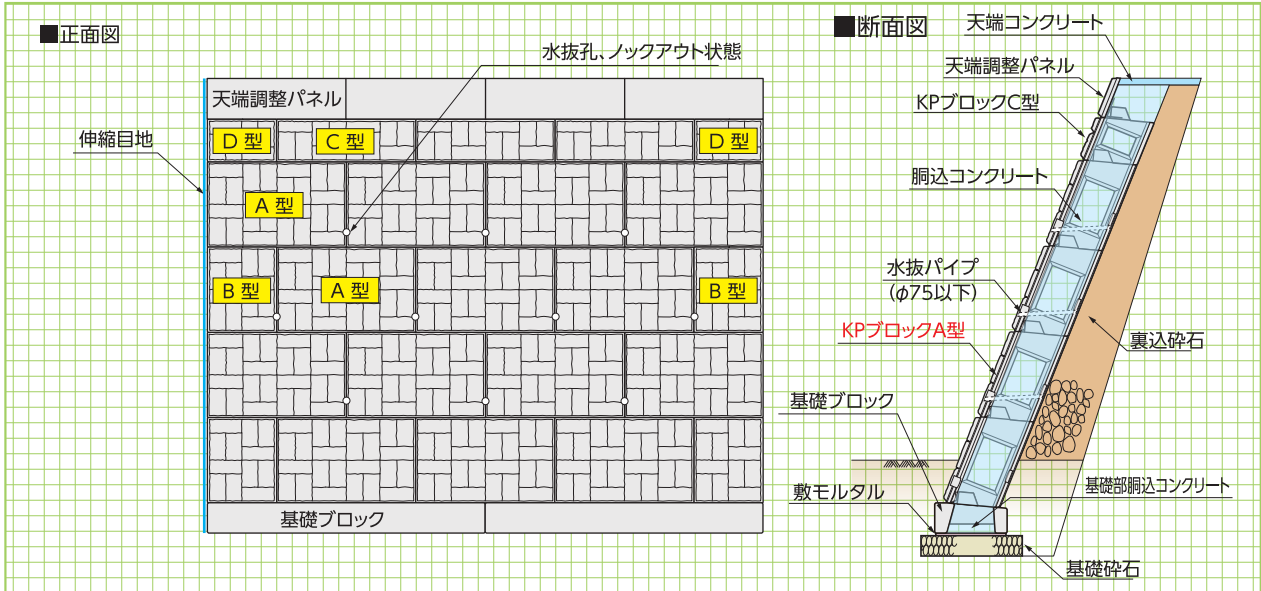


■使用条件(直高と法勾配との関係) (道路土工 擁壁工指針)

| 直高(m) | | ~3.0 | 3.0~5.0 | 5.0~7.0 |
|--------|----|-------|---------|---------|
| 法勾配 | 盛土 | 1:0.4 | 1:0.5 | - |
| | 切土 | 1:0.3 | 1:0.4 | 1:0.5 |
| ブロック控長 | | 45cm | 50cm | 55cm |

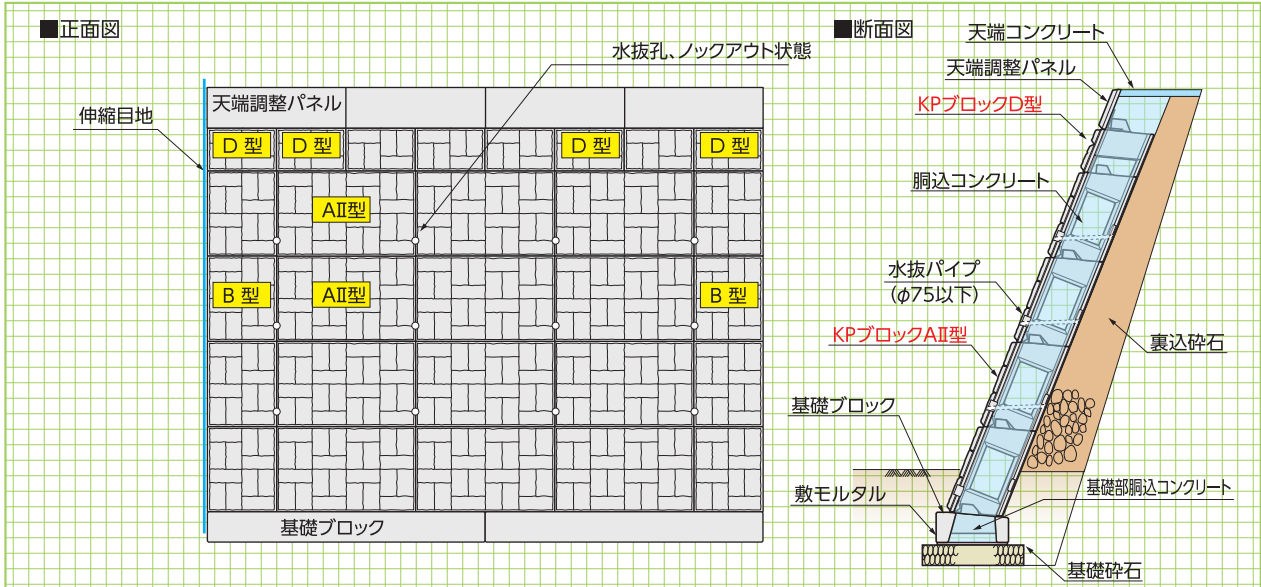
標準
施工断面図
千鳥積み

控え350：千鳥積み 控え450、500、550はA型を使用することで千鳥積み対応可能です。



標準
施工断面図
イモ積み

控え450、500、550：イモ積み (KPブロックII型)



基本形状図
本体

形状・寸法
重量表

擁壁類

防草製品

GBC・FRC製品

道路関連

景観製品

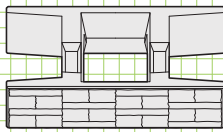
側溝類

管渠類

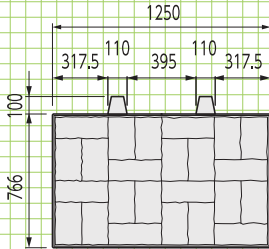
その他

本体A型

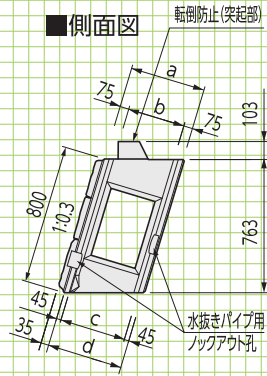
■平面図



■正面図

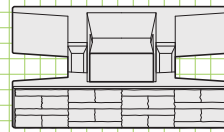


■側面図

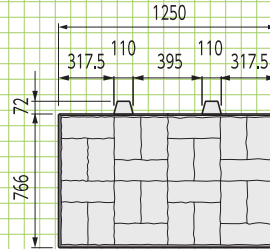


本体AII型

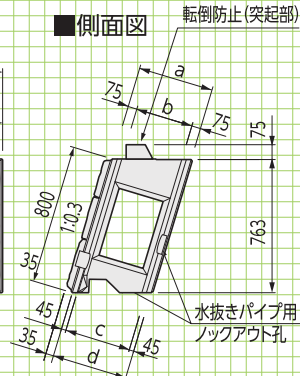
■平面図



■正面図

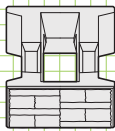


■側面図

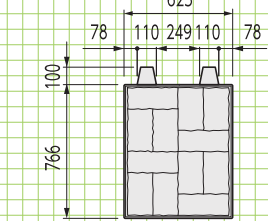


本体B型

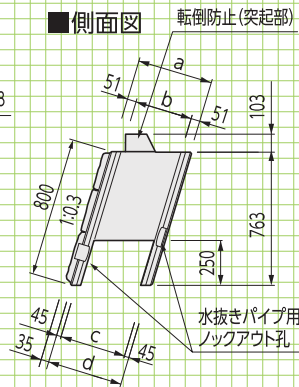
■平面図



■正面図



■側面図



「KPブロックAII型」は(公益)全国土木コンクリートブロック協会の「積みブロックの構造特性確認」に対応できます。

■寸法・重量表

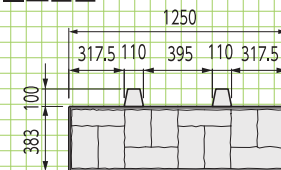
※製品1個当たりの値です。

| 呼称 呼び寸法 | 型 | 寸法(mm) | | | | ※胴込量 (m ³) | 参考重量 (kg) |
|------------|------|--------|-----|-----|-----|---------------------------|--------------|
| | | a | b | c | d | | |
| 350 | A型 | 350 | 200 | 260 | 350 | 0.178 | 404 |
| | B型 | 350 | 248 | 260 | 350 | 0.072 | 251 |
| | C型 | 350 | 200 | 260 | 350 | 0.089 | 202 |
| | D型 | 350 | 248 | 260 | 350 | 0.036 | 125 |
| 450 | A型 | 450 | 300 | 360 | 450 | 0.273 | 425 |
| | AII型 | 450 | 300 | 360 | 450 | 0.273 | 417 |
| | B型 | 450 | 348 | 360 | 450 | 0.110 | 272 |
| | C型 | 450 | 300 | 360 | 450 | 0.136 | 212 |
| 500 | D型 | 450 | 348 | 360 | 450 | 0.055 | 136 |
| | A型 | 500 | 350 | 410 | 500 | 0.320 | 433 |
| | AII型 | 500 | 350 | 410 | 500 | 0.320 | 425 |
| | B型 | 500 | 398 | 410 | 500 | 0.131 | 280 |
| 550 | C型 | 500 | 350 | 410 | 500 | 0.160 | 216 |
| | D型 | 500 | 398 | 410 | 500 | 0.066 | 140 |
| | A型 | 550 | 400 | 460 | 550 | 0.361 | 450 |
| | AII型 | 550 | 400 | 460 | 550 | 0.361 | 442 |
| 550 | B型 | 550 | 448 | 460 | 550 | 0.158 | 310 |
| | C型 | 550 | 350 | 410 | 550 | 0.160 | 276 |
| 550 | D型 | 550 | 398 | 410 | 550 | 0.066 | 170 |

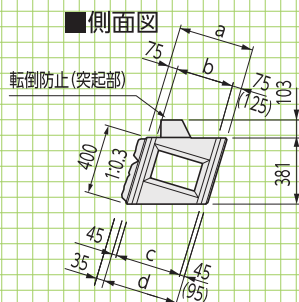
※表面模様はモールドスター-TSSタイプ
品番:TSS-295化粧型枠と同じです。

本体C型

■正面図



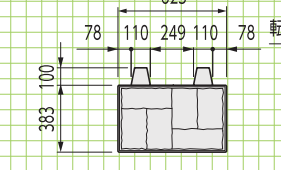
■側面図



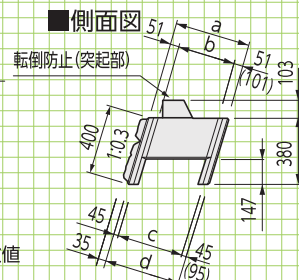
※()内は550型の数値

本体D型

■正面図

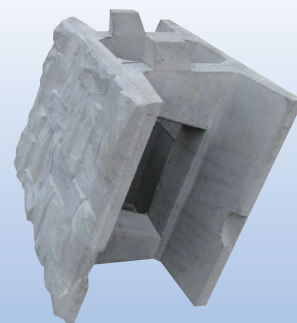


■側面図



※()内は550型の数値

本体A型

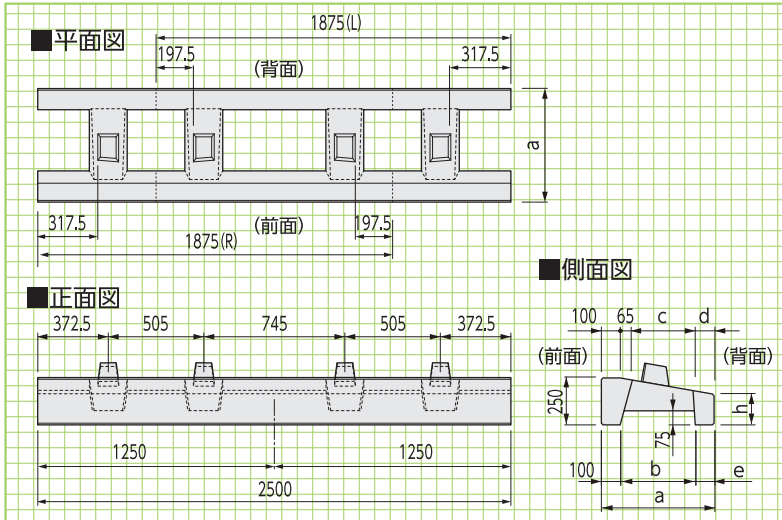


基礎ブロック

天端調整
パネル

形状・寸法
重量表

基礎ブロック

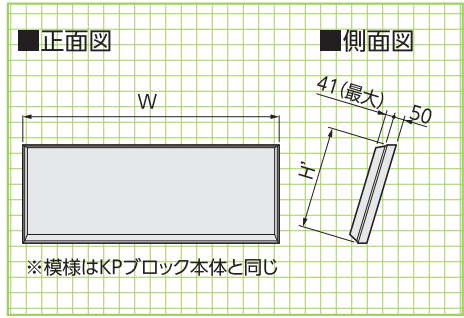


基礎ブロック 寸法・重量表

| 呼 称 | | 寸 法 (mm) | | | | | | ※胴込量 (m ³) | ※参考重量 (kg) |
|------|-------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|------------------------|------------|
| 呼び寸法 | 勾配 | a | b | c | d | e | h | | |
| 350 | 1:0.3 | 500 | 300 | 220 | 115 | 100 | 250 | 0.132 | 437 |
| | 1:0.4 | 500 | 300 | 221 | 114 | 100 | 214 | 0.125 | 411 |
| | 1:0.5 | 500 | 300 | 223 | 112 | 100 | 180 | 0.119 | 385 |
| 450 | 1:0.3 | 600 | 400 | 320 | 115 | 100 | 250 | 0.180 | 470 |
| | 1:0.4 | 600 | 400 | 321 | 114 | 100 | 205 | 0.169 | 430 |
| | 1:0.5 | 600 | 400 | 323 | 112 | 100 | 163 | 0.158 | 395 |
| 500 | 1:0.3 | 650 | 450 | 370 | 115 | 100 | 250 | 0.206 | 482 |
| | 1:0.4 | 650 | 450 | 371 | 114 | 100 | 201 | 0.191 | 439 |
| | 1:0.5 | 650 | 400 | 323 | 162 | 150 | 154 | 0.157 | 442 |

※L=2500 製品1個当りの値です。

天端調整パネル

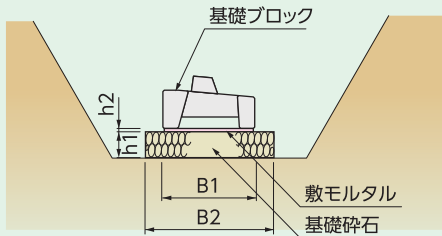


天端調整パネル 寸法・重量表

| 呼 称 (H') | 参考重量 (kg) | |
|----------|-----------|-------|
| | W=1250 | W=625 |
| 200 | 50 | 25 |
| 300 | 70 | 35 |
| 500 | 115 | 60 |

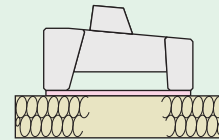
施工手順

1 掘削および基礎工



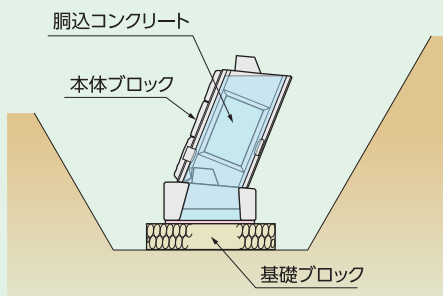
- 掘削深さは根入れ深さ、基礎砕石、敷モルタル厚さを考慮し、掘削は基礎地盤を乱さないように行います。

2 基礎ブロック据付工

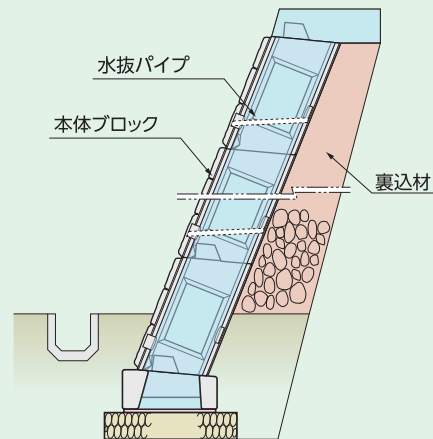


- 基礎ブロック据付け精度の良否で工事仕上り(スピード、出来映え)が決定するので、設計図書通り慎重、且つ確実に行います。
- 敷設後は基礎ブロック開孔部にコンクリートを2/3程度充填し、一体化を図ります。

3 本体ブロック据付工



- 基礎ブロック上に本体ブロックを設置する際の敷きモルタルは不要です。
- 本体ブロックを所定の位置にセットすると、下段ブロック上部の突起が作用し、計画壁面勾配を維持し自立します。
- ブロック上部の突起は、その上段のブロックと横方向に噛み合わせ構造となっているため、敷設の際、所定の位置に簡単にセットできます。
- 裏込工および胴込コンクリートは一段ごとに行い、ブロック高さの1/2~2/3程度とします。



- 排水工は水抜きパイプを2~3m²に一箇所設けます。ただし河川護岸または擁壁前面に水位がある場合は設けません。
- 水抜きパイプの取付けは、本体ブロック前・後壁端部下方に一部厚みを切り水位欠いた残り部分をハンマー等で打ち抜き、パイプをセットします。

KPBブロック (高擁壁用)

●用途

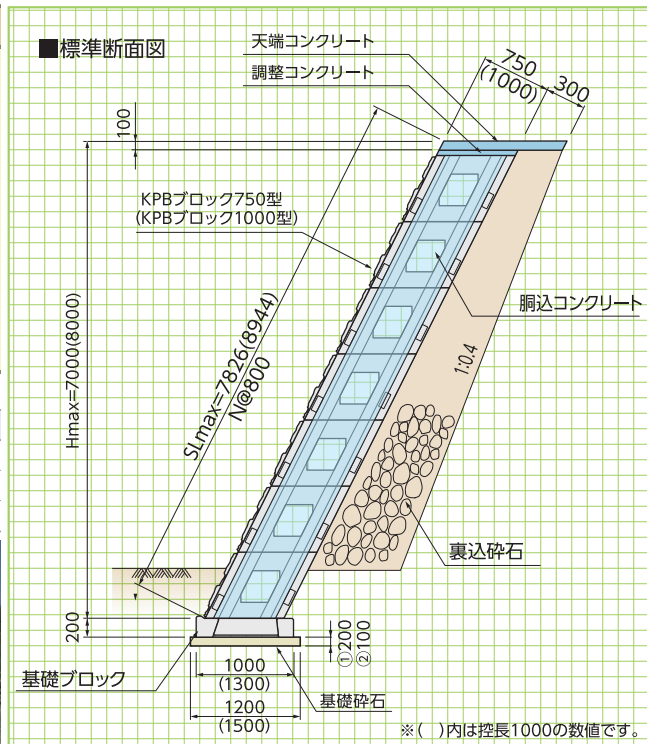
KPBブロック(高擁壁用)は、ブロック単体壁面の大型化を図るとともに、多くの付加価値(省力化、省人化、安全性等)を兼ね備えた、最も施工性に優れた大型練積擁壁です。

道路土工擁壁工指針(平成24年度版)の「通常のブロック積擁壁に準じた大型ブロック積擁壁」に対応しております。

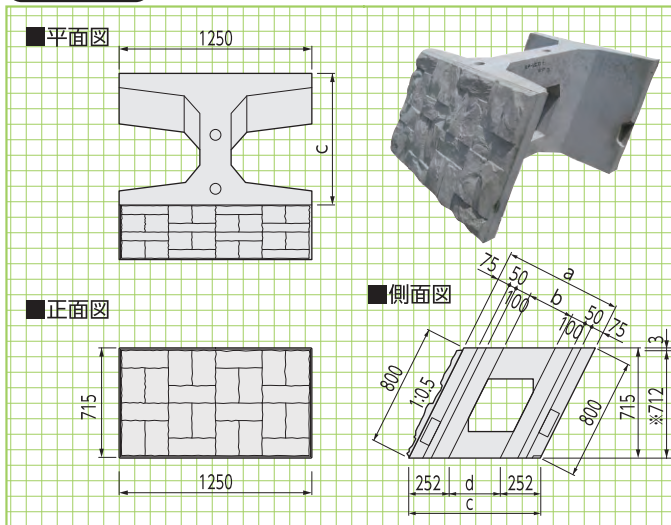
構造形式選定にあたっては、「国土交通省制定 土木構造標準設計」「道路土工指針(ブロック積(石積)擁壁)」を参考にしてください。

■控長に応じた勾配と直高の関係(m)

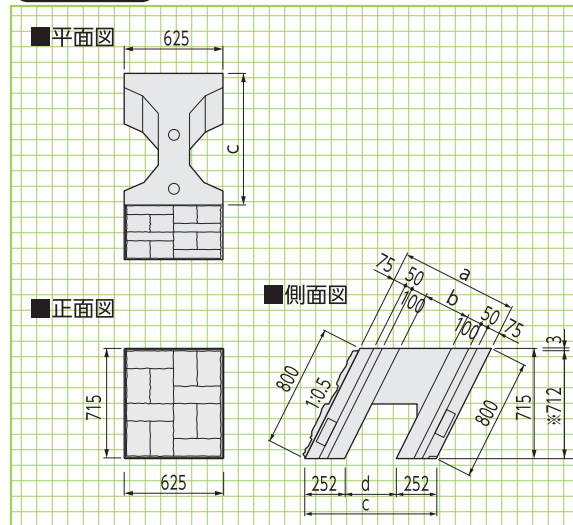
| 背面勾配 | 1:0.3 | 1:0.4 | 1:0.5 |
|------|---------|-------|-------|
| 控長 | 50cm以上 | ~3.0 | ~5.0 |
| | 75cm以上 | ~4.0 | ~7.0 |
| | 100cm以上 | ~5.0 | ~8.0 |



■本体 A型



■本体 B型

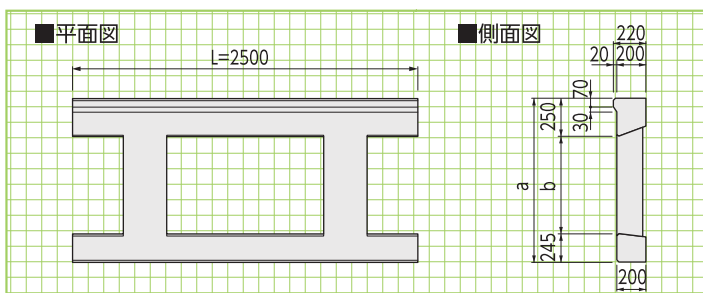


■本体寸法・重量表

製品1個当たりの数量です。

| 呼称 | 型 | 寸法(mm) | | | | 胴込量(m³) | 参考重量(kg) |
|------|----|--------|-----|------|-----|---------|----------|
| 呼び寸法 | | a | b | c | d | | |
| 750 | A型 | 750 | 300 | 839 | 335 | 0.466 | 666 |
| | B型 | 750 | 300 | 839 | 335 | 0.206 | 396 |
| 1000 | A型 | 1000 | 550 | 1118 | 615 | 0.701 | 703 |
| | B型 | 1000 | 550 | 1118 | 615 | 0.315 | 434 |

※製品改良のため前面高さより背面高さが3mmさがっている製品がございます。



■基礎ブロック寸法・重量表

製品1個当たりの数量です。

| 呼称 | 寸法(mm) | | 胴込量(m³) | 参考重量(kg) |
|------|--------|-----|---------|----------|
| | a | b | | |
| 750 | 1000 | 505 | 0.268 | 648 |
| 1000 | 1300 | 805 | 0.405 | 713 |

※L=2500のみ対応

基本形状

形状・寸法
重量表

擁壁類

防草製品

GBC・FRCC製品

道路関連

景観製品

側溝類

管渠類

その他

基礎ブロック

フリーロック (カーブ対応積みブロック)

特許出願中 : 特願2025-268442
意匠登録出願中 : 意願2025-022310



左右の製品を重ね合わせて積む構造でカーブ施工にも対応できる、施工性に優れた積みブロックです。

「フリーロック」は(公益)全国土木コンクリートブロック協会の「構造特性確認書」を取得しており、構造をご確認いただけます。

●特長

1. カーブ施工対応

最下段部で最小半径40mまで、内カーブ外カーブともに対応できます。

2. 重ね幅

製品同士の重ね幅を50mm~160mmの範囲で変えられます。その範囲であれば、前面に型枠を設置せずに目地開きをすることができ、カーブ施工が可能となります。

3. 施工性

水平に積んで、前面が1:0.5の勾配の擁壁を構築できるため、施工が容易です。

4. 工期短縮

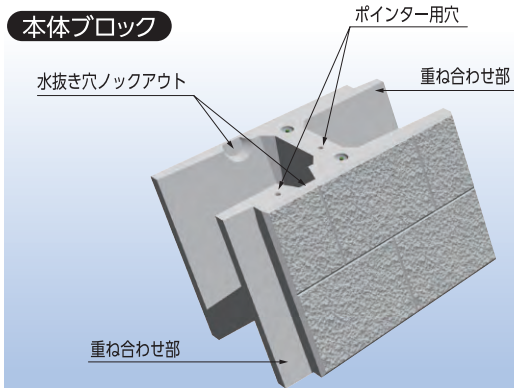
1個1m²のため、従来の間知ブロックに比べ大幅な工期短縮となります。また、ポインターで上下の位置が決まるため積みやすく、他の大型の積みブロックと比べても工期短縮に繋がります。

5. 生コン打設の施工性

製品の前面壁と背面壁を、中央の梁で連結している構造なので、胴込コンクリートを打設する間口が広く、生コン打設の施工性に優れます。

6. 勾配調整

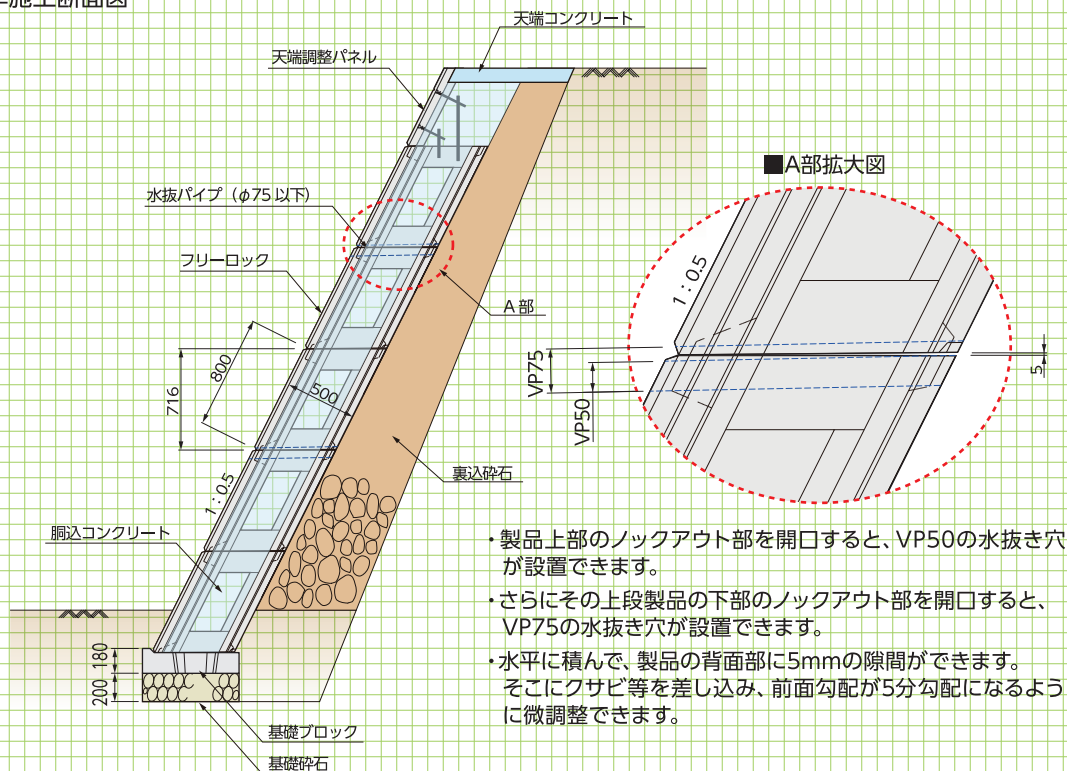
製品背面に5mmの余裕があるので、クサビ等で勾配の微調整が可能です。



製品はイモ積みで施工しますが、千鳥積みのように見えるテクスチャーです。

標準 施工断面図

■標準施工断面図



- ・製品上部のノックアウト部を開くと、VP50の水抜き穴が設置できます。
- ・さらにその上段製品の下部のノックアウト部を開くと、VP75の水抜き穴が設置できます。
- ・水平に積んで、製品の背面部に5mmの隙間ができます。そこにクサビ等を差し込み、前面勾配が5分勾配になるように微調整できます。

※胴込めコンクリート量 法面積1m²当り=0.318m³

基本形状図

形状・寸法
重量表

擁壁類

防草製品

GRC・FRCC製品

道路関連

景観製品

側溝類

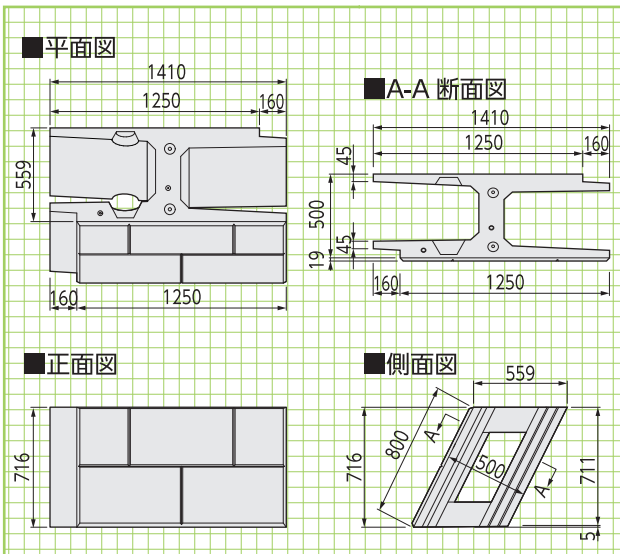
管渠類

その他

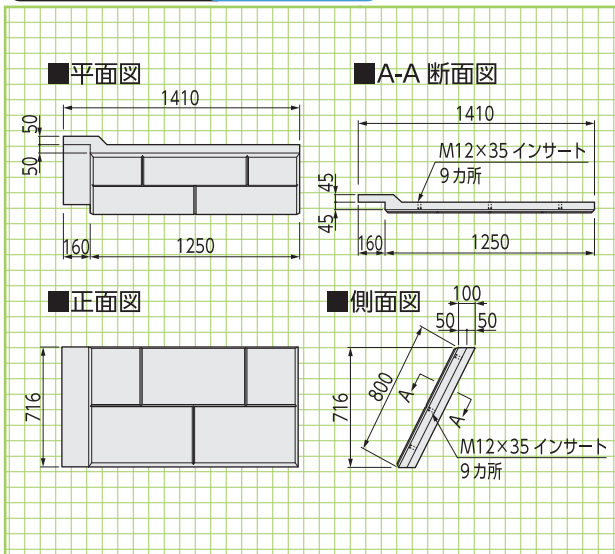
適用範囲

目地開き
位置決め

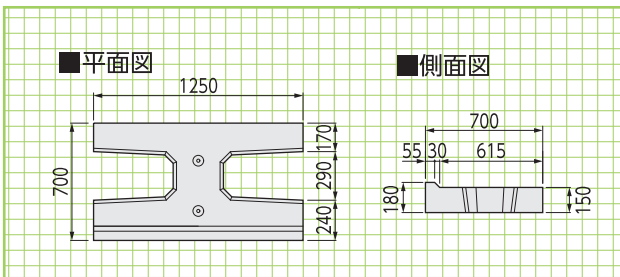
本体ブロック 参考重量:490kg



天端調整パネル 参考重量:178kg



基礎ブロック 参考重量:223kg

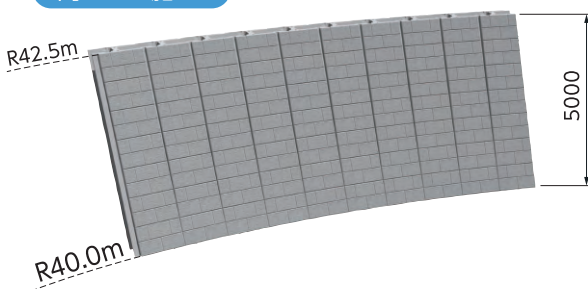


■適用範囲

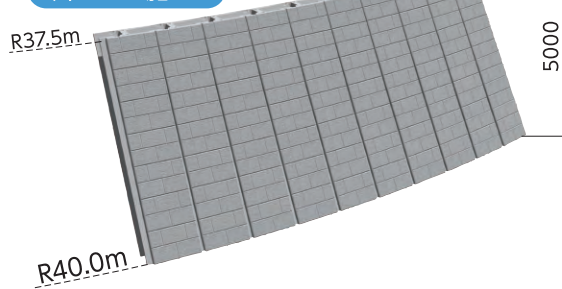
| | |
|--------|---------------------------|
| 控え厚 | 500mm |
| 高さ | 5m以下(盛土の場合) |
| 勾配 | 1:0.5 |
| カーブ | 最下段部で最小R40.0m(内カーブ外カーブとも) |
| 水抜きパイプ | Φ75以下 |

※擁壁工指針のブロック積み擁壁(経験に基づく設計法)の適用範囲に準拠する。

内カーブ施工



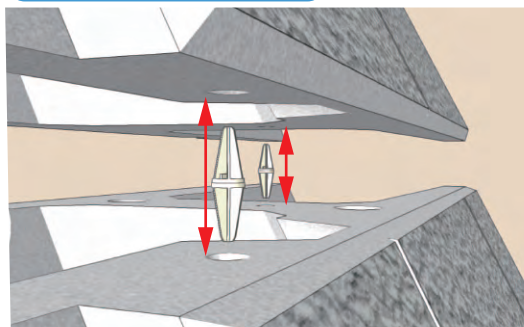
外カーブ施工



目地開き部の重ね合わせ



ポインターによる位置決め



ビッグスケールⅡ (大型積みブロック)

商標登録第4350108号



NETIS掲載終了
QS-120014-A

平均明度
6.0

輝度の標準偏差
12

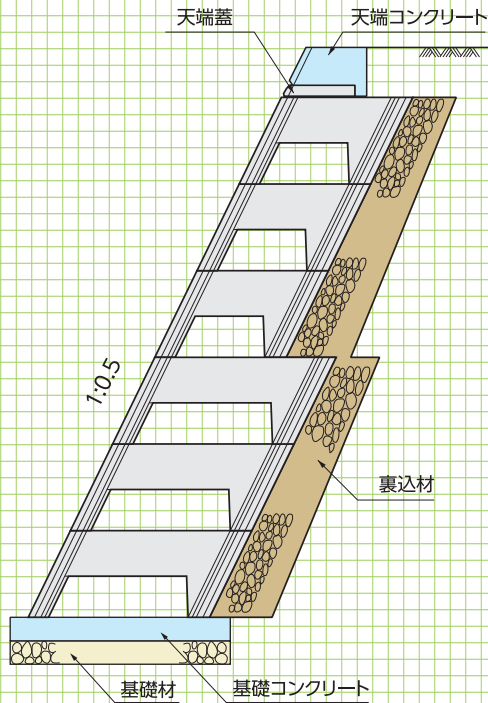
●特長

- 1.隣り合うブロックを重ねながら施工するため、隙間が生じません。
- 2.裏型枠不要。水平積み(1:0.5)で1個1m²と大型で施工の省力化が図れます。
- 3.控え長さ750mm~3000mmの、大きな土圧に対応できるブロックです。
- 4.1個の大きさを1m²とし軽量なため狭小な道路でも搬入でき、吊り上げ重量を抑えたブロックです。



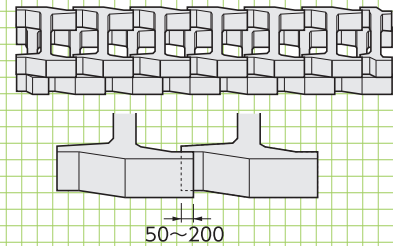
標準敷設図

■断面図



■標準敷設例

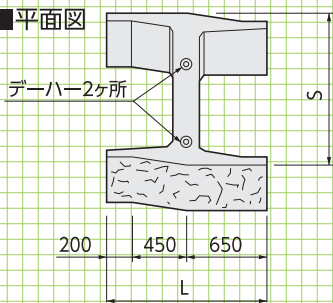
ブロックの標準合わせ位置に前後重ね施工する。



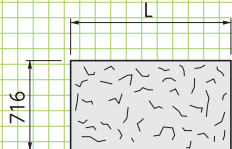
基本形状図

A型(標準)

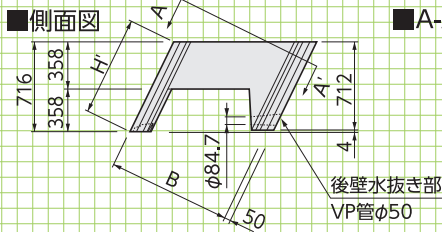
■平面図



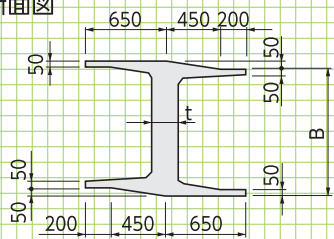
■正面図



■側面図



■A-A'断面図



■寸法表(A型)

| 呼称 | 寸法(mm) | | | | | 参考重量(kg) |
|-------|--------|------|-----|------|-----|----------|
| | B | S | H' | L | t | |
| 750A | 750 | 894 | 800 | 1300 | 200 | 519 |
| 1000A | 1000 | 1174 | 800 | 1300 | 200 | 567 |
| 1500A | 1500 | 1733 | 800 | 1300 | 250 | 738 |
| 2000A | 2000 | 2292 | 800 | 1300 | 300 | 956 |
| 2500A | 2500 | 2851 | 800 | 1300 | 300 | 1100 |
| 3000A | 3000 | 3410 | 800 | 1300 | 350 | 1393 |

基本形状図
形状・寸法
重量表

擁壁類

防草製品

GRC・FRC製品

道路関連

景観製品

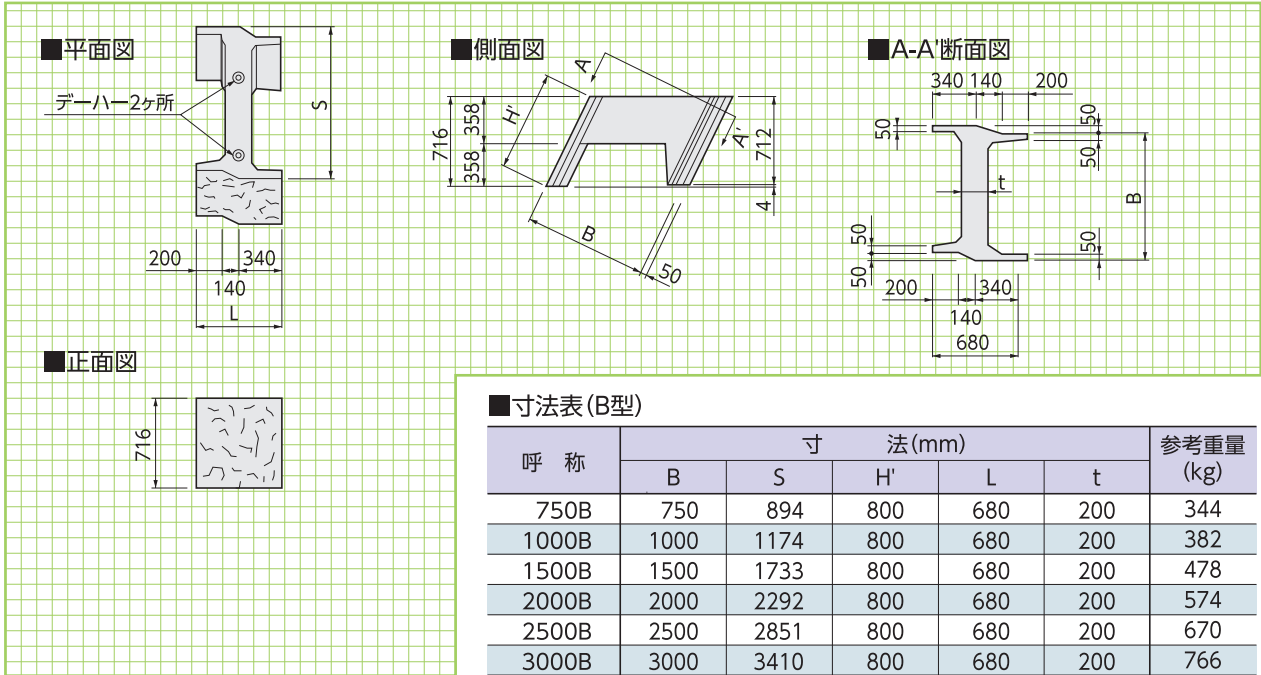
側溝類

管渠類

その他

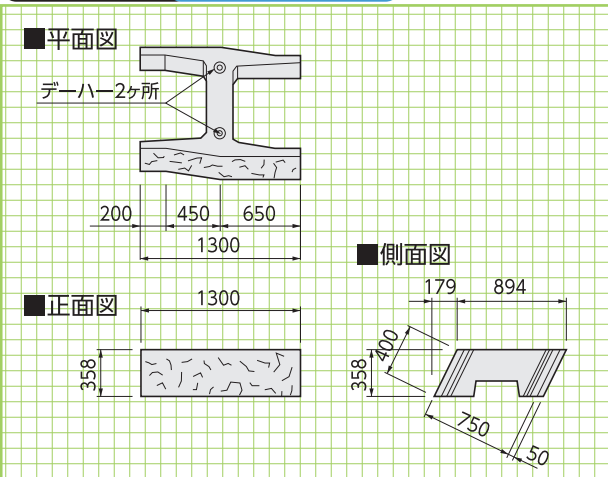
天端処理

B型(端部用)



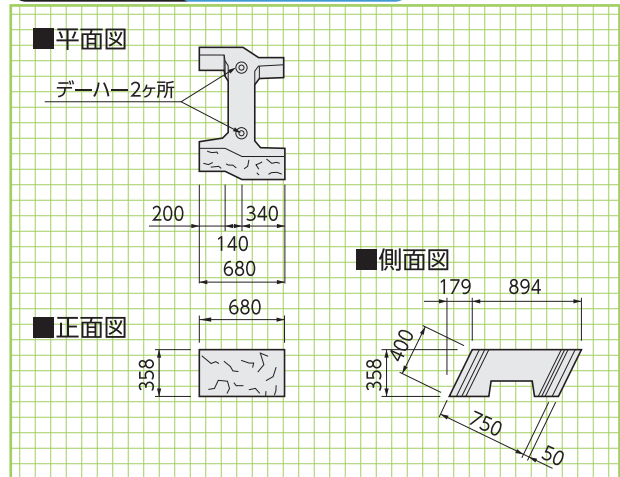
C型(天端用)

参考重量=282kg/個



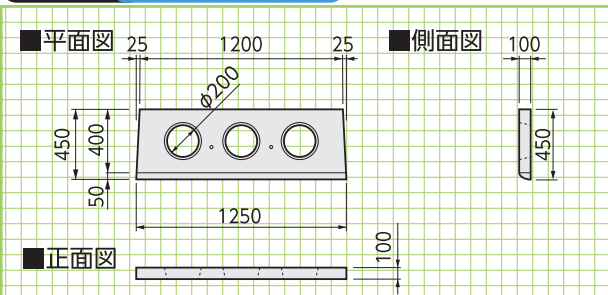
D型(天端用)

参考重量=187kg/個



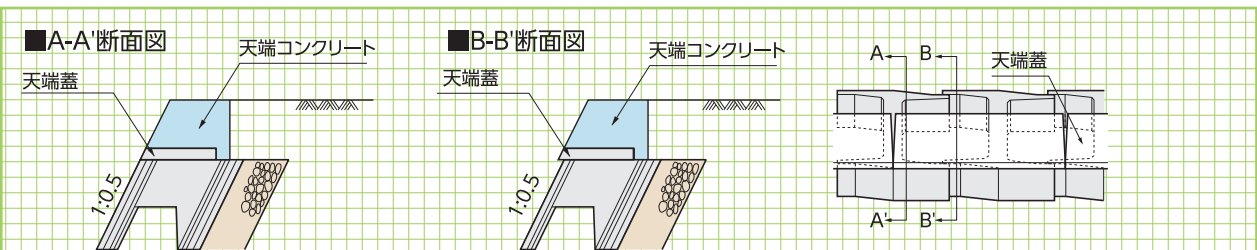
天端蓋

参考重量=102kg/個



標準工法

ブロックの最上段に天端蓋を載せ、天端ラインの平面凹凸をなくすことで、現場打ち型枠が設置しやすくなり、断面上の法線の肩と壁体の肩を一致させる必要がある場合に適した工法です。



サイドブロック 〈プレキャスト小口止ブロック〉

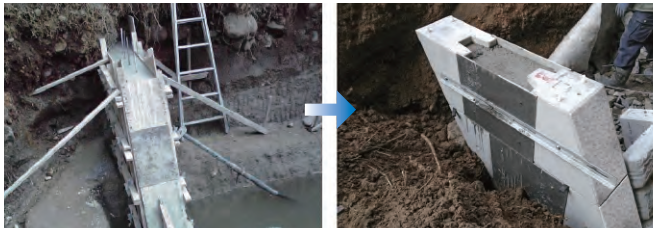
NETIS掲載終了
QS-140005-VE

小口止め工をプレキャスト化
ブロック積み工と小口止め工が同時に進行可能です。

平均明度
※6.0
輝度の標準偏差
30
※ハツリ模様に限る。

●特長

- 1.1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
- 2.サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
- 3.サイドブロック1個の重量が130kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。

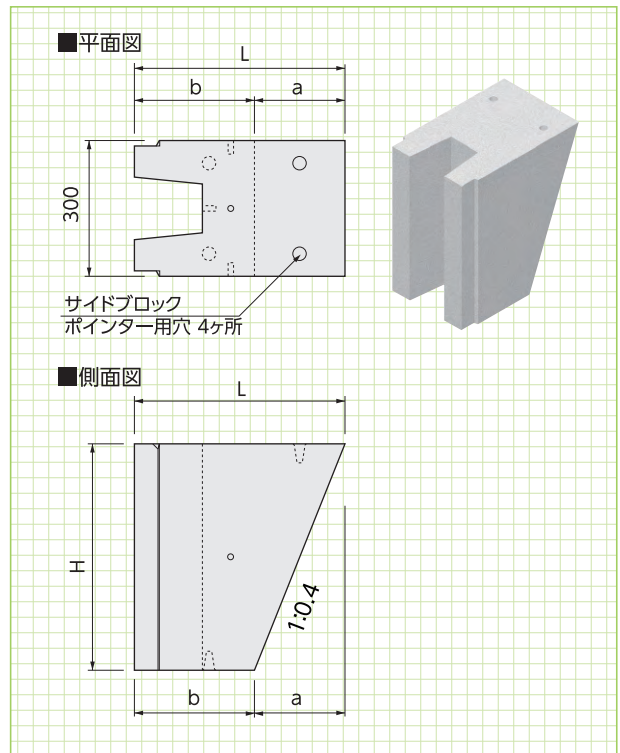
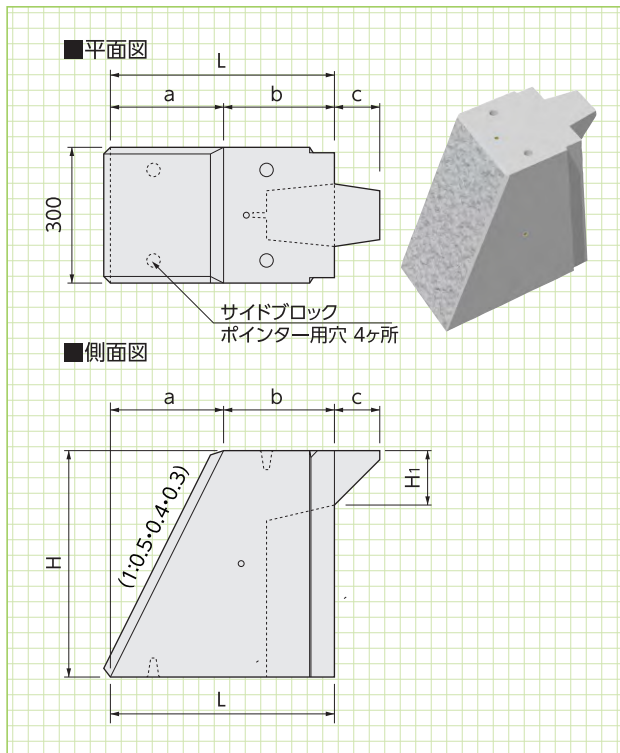


5分、4分、3分ブロック

背面用4分ブロック

基本形状図

形状・寸法
重量



■寸法・重量表

| 呼称 | 寸法(mm) | | | | | | 参考重量(kg) |
|-------|--------|-----|-----|-----|-----|----------------|----------|
| | L | a | b | c | H | H ₁ | |
| 3分 | 485 | 150 | 335 | 100 | 500 | 120 | 130 |
| 4分 | 485 | 200 | 285 | 100 | 500 | 120 | 121 |
| 5分 | 485 | 250 | 235 | 100 | 500 | 120 | 113 |
| 背面用4分 | 465 | 200 | 265 | — | 500 | — | 103 |

※3分ブロックは反転して背面用としても使用できます。

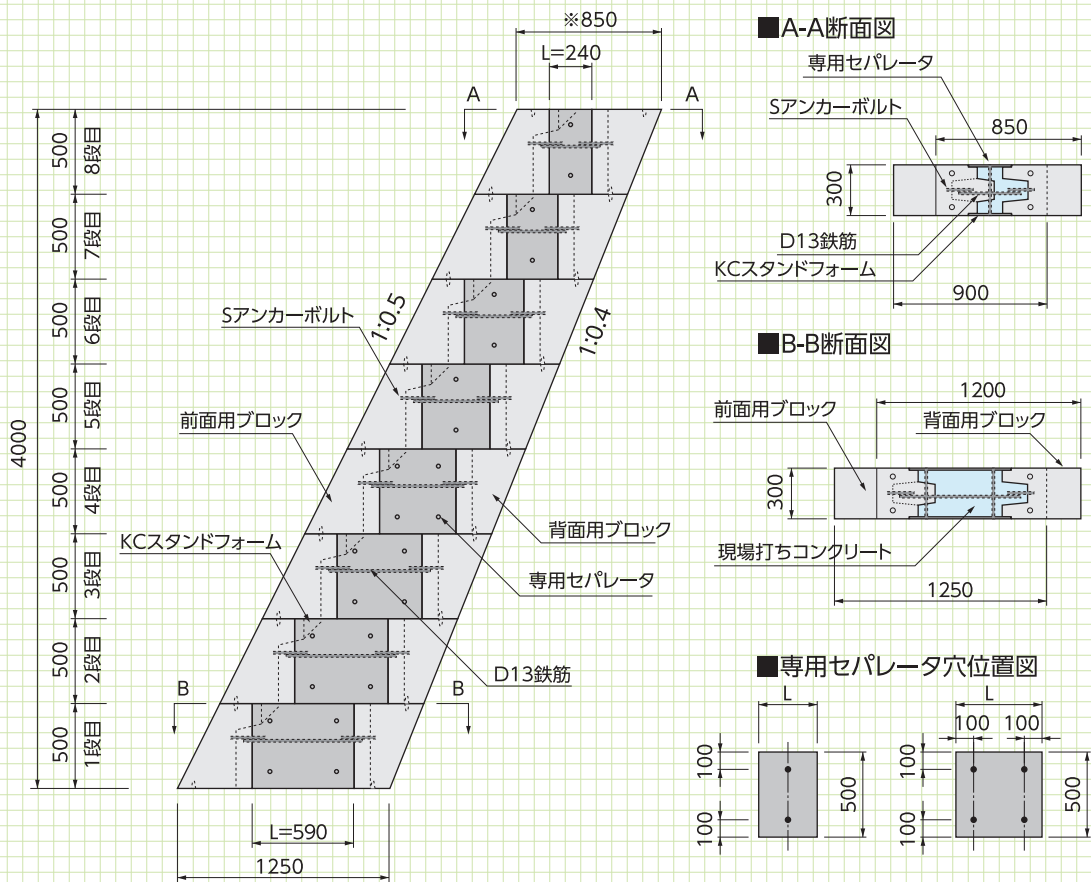
こちらのQRコードから
詳細動画をご覧いただけます。

サイドブロック施工手順動画
(<https://youtu.be/F7RaXnrMrhg>)



標準施工断面図

※天端奥行き850未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。



- ・専用セパ穴は、M6ボルトが通る径の穴を現場であけます。
- ・KCスタンドフォームの長さが400mm以上は専用セパを4ヶ所、650mm以上は6ヶ所取り付けます。

- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面用ブロックが不慮の荷重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないにします。
- 前面用・背面用ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。

